

近藤みほ通信

Miho Kondoh report

vol.01



近藤みほです。
よろしくお願ひします！



討議資料

近藤みほプロフィール

1974年7月18日生まれ
茨城県潮来市出身
清真学園高等学校卒
東京都立大学大学院建築学卒
(株)構造計画研究所に就職。
大手研究機関の実験システム開発に
プロジェクトリーダーとして従事。

2008年 長女出産と同時に流山に転入。
2010年 次女出産。
長女の育児休業中に地域育児支援
団体に助けていただいた経験から、
恩返ししたい一心でボランティア
を開始。

2011年 復職後、経営企画部で人材戦略、新規事業企画に従事。
2014年 5月退社。地域の課題に本腰を入れて取り組むため、独立。



1歳と4歳の二児のママ

詳しい経歴・政策は…

Mama's選挙ラボ

応援ありがとうございました！
Mama's 選挙ラボは、近藤みほの後援活動を通じて子育て世代の投票率向上を目指すという目標を掲げてきましたが、今後は近藤が議員として市政報告や課題の吸い上げをより直接的に行えるよう後援会の体制を作っていきます。組織が立ち上がりましたら、ホームページなどで広報させていただきます。



Mama's 選挙ラボの活動がメディアで紹介されました。

- ・朝日新聞(千葉)2015年5月19日
- ・AERA 2015年4月20日号

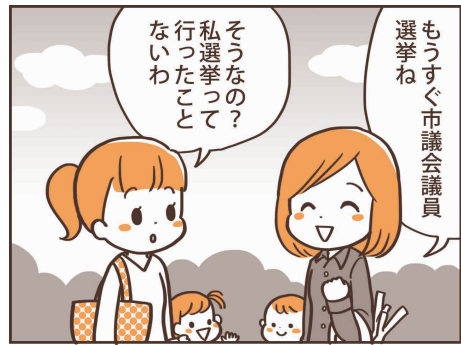
日々の活動を更新しています

f miho.kondoh @info@mihokondoh.net
t @lovehona http://mihokondoh.net/



一票の価値を金額にする?!

流山市の4年間の予算は約2000億(平成24年度〜27年度の当初予算から算出)。それを有権者(平成23年4月24日執行の流山市長選挙・流山市議会議員一般選挙)の数で割ると一人当たり約150万円の価値がございました。市議は、予算の使い道を市民の立場でチェックするのの仕事です。自分が共感できる政策を掲げている・実行している候補者に投票しよう！と訴えました。



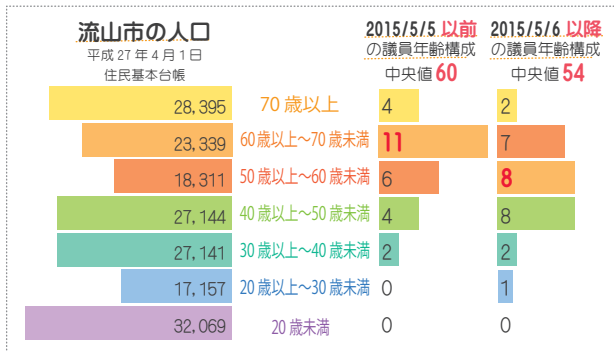
一票の価値は下記を参考に算出しています。
「食べる政治」http://taberuseiji.com/senkyo2014

選挙結果 - 世代別の考察 -

投票率は前回よりダウン

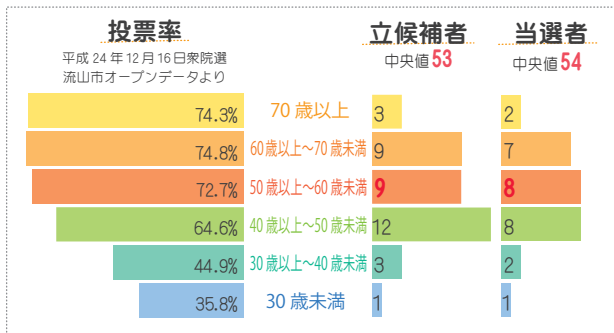
「mama's 選挙ラボ」を通じて子育て世代の投票率アップを目標に活動しましたが、結果は**前回から3.22%減の47.14%**、残念ながら力及ばずという結果に。(前回の投票率は50.36%)

以下、議員の年齢構成の分布です。



以前は60歳中心で年齢が高い方に偏りが生じていましたが、今回の選挙では54歳中心として左右対称、年齢構成のバランスは改善されたと言えます。**子育て世代の議員が少ない**と訴えてきた私としては40代が増えたことは非常に嬉しいのですが、**20代、30代が11%と少ないのは残念**です。

下記、立候補者の分布です。50代を中心として左右対象でバランスは良い一方、20代、30代は立候補にチャレンジする人自体が少ないことが分かります。



40代は激戦！

40代～50代は12人が挑戦して4人が落選、壮絶な争いであったことが伺えます。市議会議員選挙で世代別投票率は集計していないため、平成24年12月16日の衆議院議員選挙のデータを並べてみると、若年層の投票率(≒政治的関心度)の低さと相関があり、若年層の政治参画も課題だと類推出来ます。

若者や女性に政治参画を

市議会議員の男女比は右記。選挙後の流山市議会男女比。女性は25%という結果になりましたが、住民の男女比は約5割ですから**人口に対して女性は少ない**ことが分かりますが、それでも流山は全国平均12.8%よりは上です。

(参考：政策・方針決定過程への女性の参画 - 内閣府男女共同参画、平成24年の地方議会における女性議員の割合は、政令指定都市の市議会は16.5%、市議会全体は12.8%)
http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h25/zentai/pdf/h25_genjo1.pdf

右記は今回の市議選立候補者の分布です。立候補にチャレンジする女性自体が少ないことが分かります。

年齢・性別が全てではございませんが、政策決定にバランスは非常に重要です。今後は若い人や女性も政治に興味を持ち、参画して頂けるよう、**分かりやすい情報配信に務めてまいります。**



4年間よろしく
お願いします！



会派報告

所属会派は半数以上が新人！

会派は流政会に所属することになりました。流政会は8人(うち新人が5人!)で、最大会派になります。メンバーは下記。

- 森 亮二 議員(代表)(3期目)
- 青野 直 議員(5期目)
- 笠原 久恵 議員(2期目)
- 石原 修治 議員(新人)
- 坂巻 儀一 議員(新人)
- 大塚 洋一 議員(新人)
- 野田 宏規 議員(新人)
- 近藤 美保(私)(新人)

ちなみに「自民党の会派なの?」と聞かれることがあるのですが、私は完全無所属(市民派)の議員です。

会派って何?

会派の定義は流山市議会基本条例の第5条にございます。

議員は、同一理念を共有する他の議員と結成した政策集団として、議員活動を行なうための会派を結成することが出来る。会派は、政策立案、政策決定、政策提言等において議論を尽くし、その意思を表明することが出来る。

上記を私は下記のように理解しています。

市政の内容は多岐に渡り、また各々専門知識も要するため、チームで分担して調査・咀嚼・共有した上で熟議を行い、執行部に対峙できる政策提言と一緒に目指していく仲間(政策集団)。

また、一般的に人数が多い会派ほど議会内で影響力を持ちます。会派に所属しないと議会運営委員会や特別委員会には所属することが出来ませんが、常任委員会には所属することが出来ます。

流政会は、新人が多い会派ですが、面倒見の良い先輩議員が多く、教育にも力を入れている会派でチームワーク抜群の予感がしております。